

極誠会(空手)の選手達が好成績

町内の日本実践空手道連盟 極誠会の選手達が大会で優秀な成績を収めました。
優勝5人、準優勝3人、第3位4人という好成績で、優勝した5人は全国大会に出場します。

第18回ファイティングオープントーナメント 全九州空手道選手権大会

- 優勝 松竹 克也 (一般)
- 準優勝 永谷 健佑 (桜原小3年) 全国大会出場決定
- 第3位 矢野 航平 (桜原小4年)
- 第3位 中村 全 (桜原小4年)
- 第3位 松竹 大和 (桜原4年)
- 第3位 藤島 リな (桜原小6年)



▲第18回ファイティングオープントーナメント
全九州空手道選手権大会

第8回九州選抜予選会 梶原一騎先生メモリアル 空手界の明日のジョーをさがせ!

- 優勝 羽野 楓 (桜原小3年) 全国大会出場決定
- 優勝 菊本 悠翔 (井野小3年) 全国大会出場決定
- 優勝 寺本 凌 (桜原小4年) 全国大会出場決定
- 優勝 小柳 日代里 (原田小4年) 全国大会出場決定
- 準優勝 栗山 欽大 (宇美小3年)
- 準優勝 野見山 愛士 (桜原小4年)



▲第8回九州選抜予選会 梶原一騎先生メモリアル
空手界の明日のジョーをさがせ!



極誠会の活動の詳細はこちら▶

宇美町人権問題啓発講演会

7月15日(土)中央公民館大ホールにて、社会福祉法人甘木山学園理事を務められている坂口明夫さんを講師に迎え、「困らせる子どもは、困っている子どもです～支援は始末・子ども支援は家庭支援～」と題して、講演会が開催されました。

講演では、坂口さんご自身の被虐待経験を基に、厳しい状況にある子どもたちの支援をしていること、子どもを一人の人間として尊重し支援をすることの大切さや方法について話がありました。

当日は、218人が参加し、多くの参加者が坂口さんのエピソードや子どもを尊重しながら支援をする姿に感銘を受けていました。「今日のお話を振り返りながら子どもたちと接していきたい。」などの感想が寄せられました。



▲講演をする坂口さん



▲講演の様子

ただいまKBCで研修中

私は現在、九州朝日放送株式会社(KBC)に研修生として、報道業務に従事しています。今まで経験したことがない仕事の連続で毎日が勉強になっています。来年3月までラジオ、テレビ(報道)、地域共創業務に携わる予定です。地元メディアにおけるニュース取材を通じた広報リリースの在り方や地域企画の実態を実習体験することが、自分自身の成長につながると思っており、これからも頑張っていきたいと思っています。



災害備蓄用「パン非常食」を寄贈いただきました

株式会社リョーユーパン様から災害備蓄用「パン非常食」を2,400個寄贈いただきました。これは、昨今の九州における災害が多発していることを受け、オーナーの北村様が、社会貢献への想いから私財を投じて始められたプロジェクトです。

寄贈いただきありがとうございます。このパンは2～3年間の長期保存が可能となっており、災害時の避難所運営などで大切に使用させていただきます。

